

季刊
7月・8月・9月

博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

117

夏の企画展
被災地からの考古学1
— 福島県浜通り地方の原始・古代 —

福島県立博物館



夏の企画展

被災地からの考古学1 | 福島県浜通り地方の原始・古代

会期：平成27年7月18日（土）～9月13日（日）

東日本大震災で大きな被害を受けた浜通り地方も発災後4年が経過し、復興に向けた取り組みが徐々に進んできています。これまでの復興事業に伴う発掘調査により、浜通り地方の新しい歴史が次々に明らかになってきています。

今回の展示では、浜通り地方が福島県、東北地方、さらに日本全体の歴史の中で、どのような役割を果たした地域だったのかを解き明かしていきます。発掘資料のつぶやきから浜通り地方の意外な真実を発見できるはずです。

福島県浜通り地方は、東北と関東を繋ぐ南北文化の交流の地域と位置付けられます。縄文時代から平安時代にかけて、各時代の文化的要素を見ると、関東、東北、両者が折衷した文化の三様が見られ、時としてそれよりも遙か遠い地域の影響が見られる場合もあります。福島県は東北地方の玄関口として、南北二つの文化の橋渡しをしながら、独特の文化風土を形成した地域であったことが分かります。

東北の玄関口として、東北の特色と関東の特色の両方が交錯する現在の福島県の姿は、遠く縄文時代まで遡ることができると展示を通してご理解いただけたと思います。

今回の展示では、新しい福島県の歴史を解き明かす取り組みの第一歩として浜通り地方の原始・古代を取り上げ、各時代において浜通り地方が南北交流の上でいかに重要な役割を果たしていた地域であったかを発掘資料を基に解説していきます。

新たなふくしまの未来に向けて、もう一度、私たちの足元の遺跡のつぶやきに耳を傾けていきましょう。

（担当学芸員 荒木隆）

人の顔が表された縄文土器（いわき市 愛谷遺跡）



天冠はにわ（複製）（いわき市 神谷作101号墳）

◇展示構成

序章

浜通り地方ってどんなところ？

浜通り地方の特徴を自然・民俗・歴史の分野の展示品をもとに考えます。

第1章 常磐道で行く遺跡の旅

南の茨城県境から常磐道の路線順に興味深い調査成果のあった遺跡を紹介します。

第2章 浜通り ふるさとのお宝自慢

浜通り地方の各市町村で発掘調査された出土品のうち、ふるさと自慢の目玉資料を展示します。

第3章 浜通り 復興調査で大発見！

震災復興事業に伴う発掘調査によって明らかになった調査成果を紹介します。

第4章 浜通り発 ふくしまの顔

浜通り地方の出土品に表された縄文・平安時代までの顔を集め、意外な人たちの顔までも紹介いたします。

終章 浜通りの復興に向けて、文化財と地域の未来

文化財レスキュー事業や震災遺産保全プロジェクト事業などの取り組みを紹介するとともに、今後の復興に向けて文化財が果たす役割について考えます。



経筒出土状況 (いわき市 上ノ原経塚)



船の線刻のある土器 (南相馬市 八幡林遺跡)



線刻された船の絵 (復元図)

オリジナルグッズ製作ミステリーコーナー

展示室内に設置した製作コーナーで毎週日曜日、日替わりで以下の5つの製作メニューのどれか一つが行えます。さて、みなさんの来館する日曜日には、どの体験ができるでしょうか。それは、来てからのお楽しみですよ。

オリジナルグッズ製作メニュー

- ① 縄文アートの名刺作り
- ② 紡錘車とビーズで腕輪作り
- ③ 埴輪バズルを作ろう
- ④ 木簡しおりを作ろう
- ⑤ 経塚ストラップを作ろう

*企画展料金で体験できます

◆主な展示資料

- 旧石器時代 大谷上ノ原遺跡出土石器(榎葉町)・萩原遺跡出土石器(南相馬市)
- 縄文時代 道平遺跡出土土偶(大熊町)・前山A遺跡出土土器(富岡町)
- 弥生時代 白岩堀ノ内遺跡出土鉄製鋸先(いわき市)・天化沢A遺跡出土石器(南相馬市)
- 古墳時代 丸塚古墳出土埴輪(相馬市)・鹿屋敷遺跡出土土器(浪江町)
- 飛鳥時代 善光寺窯跡出土資料(新地町)・郡山五番遺跡出土瓦(双葉町)
- 奈良時代 桜田IV遺跡出土土器(広野町)・横大道遺跡出土製鉄関連資料(南相馬市)
- 平安時代 大猿田遺跡出土木製品(いわき市)・上ノ原経塚出土経典(いわき市)

◆関連行事

○企画展関連講演会

第1回 「ふくしま復興調査元年―阪神淡路大震災と東日本大震災―」

日時：平成27年7月25日(土) 午後1時30分 会場：当館講堂

講師：兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課長 山本誠氏

第2回 「復興調査最前線1―派遣職員が見たふくしまの遺跡―」

日時：平成27年8月8日(土) 午後1時30分 会場：当館講堂

講師：公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 天本昌希氏 京都府教育委員会 中居和志氏

第3回 「浜通り地方から福島県の古代を読み解く1」

日時：平成27年8月15日(土) 午後1時30分 会場：当館講堂

講師：当館学芸員 荒木 隆

第4回 「復興調査最前線2―浜通り地方市町村教育委員会の調査―」

日時：平成27年9月5日(土) 午後1時30分 会場：当館講堂

講師：公益財団法人いわき市教育文化事業団 木幡成雄氏 南相馬市教育委員会 荒淑人氏

○企画展解説会

当館企画展担当学芸員が古墳時代の埴輪を基に復元した古代衣装を着用して展示解説を行います。

日時：会期中の日曜日及び祝日。8月21日(金) 県民の日 午後2時～3時

企画展関連講演会終了後 午後3時～4時

講師：当館学芸員 荒木 隆

※この企画展は、左記の会場に巡回いたします。

いわき市考古資料館：10月3日(土)～12月14日(月) 南相馬市博物館：平成28年1月16日(土)～3月6日(日)

ふるさと会津の人と四季

福島県立美術館名品展

企画展「ふるさと会津の人と四季」福島県立美術館名品展」では、会期中三回のギャラリートークに加え公開対談を行いました。初日の五月二日（土）は早川博明県立美術館長による第一回のギャラリートークを開催。友の会の方々を中心にたくさんのお客様にご参加いただきました。準備室時代からのベテランで県立美術館の事を知り尽くしている早川館長からは、すべての作品の見所を親しみやすく解説していただき、美術を楽しむ心を共にしました。齋藤清のコーナーでは、生前親交も



早川博明県立美術館長による第一回日のギャラリートーク

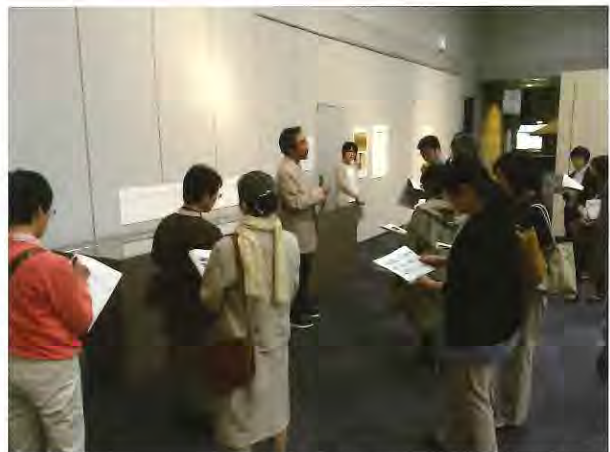
あった画家を「齋藤さん」と呼び、あたたかい人となりを紹介していただきました。

五月十六日（土）第二回のギャラリートークは新人学芸員のお二人坂本篤史さんと白木ゆう美さんが担当でした。早川館長とはまた趣の異なる調子で丁寧な作品の魅力を伝えようとする姿勢はお客様にも十分届いていたように思えます。



第二回のギャラリートークの様子

六月六日（土）は喜多方市美術館館長の後藤學さんと県立美術館の増淵鏡子学芸員が展示室内で公開対談を行っていました。作品を前にお二人のソフトな口調で進む対談に時に会場には笑顔があふれました。この回のテーマは喜多方美術倶楽部をめぐって。喜多方美術倶楽部は、大正時代に喜多方・山都の商工業者を中心に展開された美術愛好者の活動で、芸術家を地域に招く



喜多方美術倶楽部についてのギャラリートーク

アーティスト・イン・レジデンスの先駆的な実践や実現には至らなかったものの我が国で最も早い美術館構想を持つていました。後藤館長、増淵学芸員のお二人は長年喜多方美術倶楽部の調査を進めており、活動の概要と中心的存在だった小川芋銭のことなどを詳しく解説していただきました。また、会津の近代画家の紹介を精力的に進めてきた後藤館長からは会津の水彩画の歴史的意義や魅力についても解説があり、十分知られているとはいえない会津の近代美術の意義を伝えていただきました。

最終日の六月二十一日（日）は、今回の展覧会の担当者である堀宜雄学芸員のギャラリートークでした。作品解説に加えて、会津での美術展覧会の歴史についてもご紹介いただきました。一人じっくり作品と対面する時間も大切ですが、ギャラリートークで作品の魅力を共有する時間もとても有意義なものです。ご参加いただいた皆様が美と対話する時間を持っていたただけなら幸せです。



堀宜雄学芸員によるギャラリートーク

アンケートのご意見ご感想からは、会津若松には美術館がないので美術に触れる機会が大切、県立美術館の展示を頻繁に開催して欲しい、福島に行かなくても会津の作家の作品がまとめて鑑賞できてよかった、など本展が期待されていたことがうかがえました。そうした声におこたえできる機会を本展を機にさぐってまいります。

被災地からの考古学 1

福島県浜通り地方の原始・古代

Q 浜通り地方の遺跡には、どんな特徴があるのですか？

A みなさんもご存知のように福島県は太平洋岸の浜通り地方、阿武隈高地と奥羽山脈にはさまれた阿武隈川流域の中通り地方、奥羽山脈と越後山脈にはさまれた阿賀川流域の会津地方の3地方に分かれています。

浜通り地方は太平洋に面していることから海に關係する遺跡が目立ちます。縄文時代の貝塚は、その中でもよく知られているものです。海岸で獲れた貝や魚の骨などがたくさん埋まっている貝塚は、まさに海岸部にしかない代表的な遺跡です。貝塚は簡単に言ってしまうと、縄文時代のゴミ捨て場です。ですから、貝塚を発掘調査すると魚介類だけでなくシカやイノシシの骨をはじめ、腐らないで残ったさまざまな食材の痕跡が発見されます。発掘で確認される食材には海の幸、山の幸、さまざまなものが見られ、貝塚は縄文時代の食材リストを物語る貴重な遺跡と言えます。



浜通りで行われていた当時の製鉄作業の様子

また、飛鳥時代から平安時代にかけて製鉄を行った製鉄遺跡が多く発見されるのも浜通り地方の特徴です。どうして製鉄遺跡が浜通り地方に多いのでしょうか。それは、製鉄の原料に使う砂鉄が関係しています。砂鉄は川の流れて緩やかな川岸や河口部分でたくさん採れます。浜通り地方の地形をみると、浜通り地方を流れる川はどれも阿武隈高地から太平洋に向かって東に向かって流れ、浜通り地方の沿岸部で太平洋に向かかって河口が開けます。阿武隈高地の地質をみると花崗岩という岩盤でできており、花崗岩が風化するとその中に含まれていた鉱物が砂鉄として地上に現れます。それらの風化した花崗岩が川で流されながら砂鉄が集められ、浜通り地方の河川の河口部に溜まります。浜通り地方では、現在でも砂鉄が大量に採れる場所がいくつも確認できます。おそらく、古代のふくしまの

人々も河口に大量に溜まる砂鉄を見て、製鉄を行おうと考えたのだと思います。しかも、製鉄を行うためには、原料の砂鉄だけでなく、製鉄炉を作るのに適した高い温度に耐えられる良質の粘土が必要です。この良質の粘土も阿武隈高地の花崗岩が風化したものから採れます。さらに、砂鉄から鉄を取り出すためには木炭を混ぜて燃やし、高い温度にしなければならぬため、大量の木炭が必要でした。木炭の材料となる木材が豊富でなければ、大規模な製鉄を行うことはできなかったわけです。砂鉄、粘土、木材という製鉄作業に必要な不可欠な材料全てを阿武隈高地が与えてくれたのです。つまり、阿武隈高地の豊かな自然の恵みが福島県の浜通り地方で大規模な製鉄を可能にしてくれたわけです。そのため、古代（飛鳥時代〜平安時代）の製鉄遺跡の数は現在のところ福島県が全国トップで、古代の福島県は国内最大の製鉄コンビナート地帯であったと言えます。これらの製鉄技術は当時最先端の技術であり、製鉄技術の導入には当時の国家が何らかの形で関わっていたと考えられています。当時の福島県地方は、最先端の技術を導入した製鉄事業の拠点地域として政府からも重要地域と認識された地域であったことが分かります。

このように地域にある遺跡を調べていくことにより、その地域の特色をより鮮明に浮かび上がらせることができます。

私のこれまでの研究

自然担当 猪瀬弘瑛 いのせ ひろあき

こんにちは、本年度より博物館に勤務することになった猪瀬弘瑛と申します。今回は私がこれまでどのようなことを研究してきたのかについて紹介したいと思います。

福島県を含む東北地方から関東地方の太平洋沿岸地域には、恐竜が生息していた時代である白亜紀の海の地層が点々と分布しています。本県ではいわき市から広野町、楡葉町にかけて、フタバスズキリュウで有名な双葉層群が広がっています。

これらの白亜紀の地層はアンモナイトや二枚貝などの化石を豊富に含んでいます。化石となった生物は寒い環境を好む種類もあれば暖かい環境を好む種類もいました（こうした古環境



双葉層群から産出した化石その1 下の白線の長さは1cm

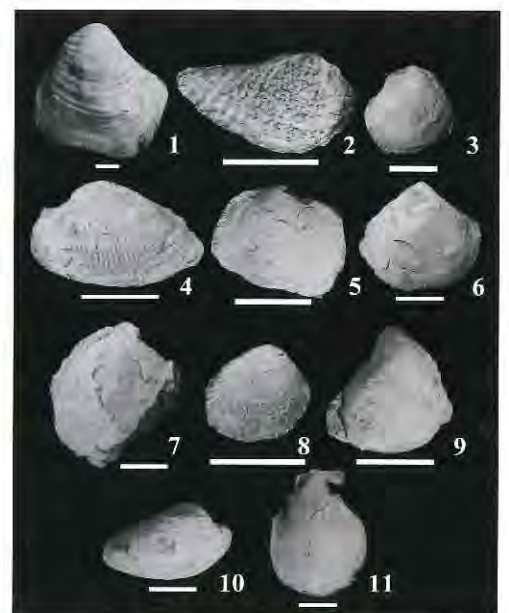
を推定するのに役立つ化石を示相化石といえます。いつの時代のどの場所の地層からどんな種類の化石が出るのかが分かれば、白亜紀の東北地方の環境がどのように変化してきたのかが明らかになると考えました。

そこで福島県に加えて、岩手県、茨城県、千葉県、埼玉県、群馬県、長野県に広がっている白亜紀の海の地層を調査し、化石を採取することになりました。生息していた期間が短く、時代の特定に役立つ化石（こうした化石を示相化石といいます）を使って時代を決定し、示相化石や地層の様子を観察して当時の環境を復元していきました。

ここでは前述の双葉層群について詳しく説明します。

双葉層群は下の地層から順に、足沢層、笠松層、玉山層に分けられています。足沢層から玉山層の下部にかけては白亜紀後期のコニアシアンという時代の地層で、玉山層の上部については同じく白亜紀後期のサントニアンという時代の地層となっています。これは双葉層群から数多く産出するアンモナイトや二枚貝のイノセラムスといった化石の研究から分かったことです。

次に双葉層群はどのような環境で堆積したのでしょうか？ 足沢層は陸上の扇状地などの堆積物として形成され始め、その後海面の上昇に伴って海の堆積物がたまるようになりました。いわき市アンモナイトセンターでみられるように、この堆積物からはアンモナイトや二枚貝といった海の生物の化石が産出します。これらの二枚貝化石を良く調べてみると、寒い環境を好むものと暖かい環境を好むものが混じって



双葉層群から産出した化石その2 下の白線の長さは1cm

出てきます。その上に重なる笠松層から玉山層の下部にかけては主に河川の堆積物として形成され、玉山層の上部ではまた海の堆積物がたまるようになりました。この堆積物からはフタバスズキリュウやアンモナイトや二枚貝などの海の生物の化石が産出します。これらの二枚貝化石は足沢層のものと違って寒い環境のものだけが出てきます。こうしたことから双葉層群は南からの海流と北からの海流の両方の影響を受けながら堆積し始め、しだいに北からの海流の影響を強く受けるようになったものと考えられます。

こうした検討を各地域で行い、白亜紀の東北地方では北からの海流と南からの海流の相対的な変化を強く受けていたことがわかってきました。これからはさらに詳しい研究を行い、東北地方の古環境の変遷を明らかにしていきたいと考えています。

ふるさとの考古資料6 【飯舘村】遺跡探訪

「いたての土」の中から掘り出された縄文土器
 そこに造形されたイノシシの顔
 イノシシはたくさんの子を産む
 土器はいのちを産み出す母のおなか
 ならばイノシシは
 いのちの誕生を見守るカミなのだろうか
 無限（∞）に…



獣面把手（部分拡大）縄文時代中期（飯舘村上ノ台A遺跡）

相馬中村藩の人びと

秋の企画展 予告



相馬藩料理方久田家に伝来した料理伝書（部分）（双葉町教育委員会蔵 当館寄託）

相馬野馬追に代表されるように、相双地域では相馬中村藩の伝統が現代にいたるまで色濃く伝えられています。この企画展では、当館に寄託されている相双地域の資料や、東日本大震災後の資料保全活動の中で確認・調査された資料などを展示公開し、それらを通じて江戸時代の藩主や藩士、寺社や領民たちのさまざまな暮らしや営み、信仰の様子などをご覧いただけます。

（歴史担当 高橋充）

■会期…平成27年10月10日（土）～11月29日（日）

企画展

●企画展観覧料
 一般・大学生 500円(400円)
 高校生 300円(240円)
 中学生 200円(160円)
 ※()は20名以上の団体料金

夏の企画展 「被災地からの考古学1」

日時 7月18日(土)～9月13日(日) 会場 企画展示室

●関連事業

企画展記念講演会1 「ふくしま復興調査元年 阪神淡路大震災と東日本大震災」

日時 7月25日(土) 13時30分 会場 講堂
 講師 兵庫県立考古博物館学芸文化財課長 山本 誠氏
 *申込み不要 入場無料

企画展記念講演会2 「復興調査最前線1 派遣職員が見たふくしまの遺跡」

日時 8月8日(土) 13時30分 会場 講堂
 講師 公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 天本昌希氏
 京都府教育委員会 中居和志氏
 *申込み不要 入場無料

企画展記念講演会3 「浜通り地方から福島県の古代を読み解く1」

日時 8月15日(土) 13時30分 会場 講堂
 講師 学芸員 荒木隆 *申込み不要 入場無料

企画展記念講演会4 「復興調査最前線2 浜通り地方市町村教育委員会の調査」

日時 9月5日(土) 13時30分 会場 講堂
 講師 公益財団法人いわき市教育文化事業団 木幡成雄氏
 南相馬市教育委員会 荒 淑人氏
 *申込み不要 入場無料

テーマ展

*常設展料金でご覧いただけます

「ふるさとの考古資料6 「飯館村」遺跡探訪」

会期 6月20日(土)～H28年5月8日(日)
 会場 部門展示室「考古」

「はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト成果展」

会期 7月4日(土)～8月30日(日)
 会場 部門展示室「歴史美術」

『現代「漆・歴史」考2015』

会期 9月5日(土)～11月1日(日)
 会場 部門展示室「歴史美術」

ポイント展

*常設展料金でご覧いただけます

「会津藩の社会」

会期 7月18日(土)～8月21日(金)
 会場 総合展示室「近現代」

「若松歩兵連隊」

会期 7月18日(土)～8月21日(金)
 会場 総合展示室「近現代」

「天明飢饉の凶」

会期 7月18日(土)～8月21日(金)
 会場 部門展示室「近現代」

「まぼろしの土人形―根子町人形」

会期 8月12日(水)
 会場 部門展示室「民俗」

「猪苗代のオシメイヤマ」

会期 8月14日(金)～9月30日(水)
 会場 部門展示室「民俗」

「明治人の手紙―旧会津藩関係者の足跡」

会期 8月22日(土)～9月25日(金)
 会場 総合展示室「近現代」

館長講座

「司馬遼太郎の東北紀行④⑤⑥」

日時 ④7月16日(木) ⑤8月20日(水) ⑥9月17日(木)
 ④⑤⑥いずれも13時30分～14時30分 会場 講堂
 講師 館長 赤坂憲雄 *申込み不要 入場無料

講演・講座

○民俗講座

映像でみるふくしま伝承の技②
 「奥会津の曲げ物づくり」
 日時 7月11日(土) 13時30分～15時 会場 講堂
 講師 学芸員 内山大介 *申込み不要 入場無料

映像でみるふくしま伝承の技③
 「ふくしまの炭焼き―福島市茂庭地区」
 日時 9月19日(土) 13時30分～15時 会場 講堂
 講師 学芸員 二瓶浩伸 *申込み不要 入場無料

○歴史講座

「おもしろ資料で読む歴史③」
 日時 8月22日(土) 13時30分～15時
 会場 実習室 講師 学芸員 田中伸一 *要申込み 定員30名 参加無料

「おもしろ資料で読む歴史④」
 日時 8月29日(土) 13時30分～15時
 会場 実習室 講師 学芸員 佐藤洋一 *要申込み 定員30名 参加無料

○考古学講座

「縄文土器をつくらう」
 日時 8月1日(土)～8月2日(日) いずれも10時～15時
 会場 実習室 講師 学芸員 森幸彦 他4名
 *要申込み 両日参加できる方 定員20名 参加費300円

○自然史講座

「化石さがしと大断層の観察」
 日時 9月26日(土) 8時30分～17時30分 小雨決行
 実習地 東白川郡瑞西河内 藤田鉱業採石場
 講師 専門員 相田優 他3名
 *要申込み(定員40名 バス代等1100円)

「化石標本をつくらう」
 日時 9月27日(日) 13時30分～15時30分
 会場 福島県立博物館実習室
 講師 学芸員 香内修 他3名
 *参加者は前日の化石採集に参加した人 参加費無料

○ギャラリートーク

「展示資料からみる古代のふくしま」
 日時 ④7月12日(日) 13時30分～14時
 ⑤8月9日(日) 13時30分～14時
 ⑥9月13日(日) 13時30分～14時
 会場 総合展示室「古代」
 講師 学芸員 荒木隆 *申込み不要 *常設展料金でご覧いただけます

○実演・実技講座

実技 会津・三島の編み組み細工
 「ヒロロの小物入れ作り」
 日時 7月11日(土) 13時～16時
 7月12日(日) 9時30分～15時 会場 実習室
 講師 伝統継承保持者 角田キ子氏 海老名一子氏
 *両日参加で要申込み 定員20名 参加費3000円

実演 「昔語り」
 日時 9月12日(土) 13時30分～15時
 会場 体験学習室
 講師 語り部 横山幸子氏 *申込み不要 入場無料

紙芝居 「スーパージョージ」
 日時 ④7月26日(日) ⑤8月23日(日) ⑥9月27日(日)
 ④⑤⑥いずれも13時30分～14時
 会場 体験学習室
 講師 学芸員 荒木隆 *申込み不要 入場無料

ふくしま応援ミュージアムイベント

夏休み子ども映画会
 「アナと雪の女王」
 日時 7月20日(日) 13時30分(※上映時間は約2時間です)
 会場 講堂 *入場無料 申込み不要 当日先着200名

「会津磐梯山・市民盆踊り」

日時 8月15日(土) 19時～20時30分 会場 福島県立博物館前庭
 講師 会津磐梯山盆踊り保存会の皆さん *申込み不要 入場無料

「夏休み ナイトミュージアム」

日時 8月22日(土) 17時30分～19時 会場 常設展示室
 *要申込み 入場無料 定員80名

「ハワイアンinけんぱく」

日時 9月20日(日) 13時30分～15時 会場 エントランス
 講師 モハル・ハワイアンの皆さん *申込み不要 入場無料

福島県立博物館移動展のご案内

三春町歴史民俗資料館入場料 一般・大学生 300円
 小・中・高校生など150円
 ※問い合わせ・お申込みは三春町歴史民俗資料館へ
 電話0247(62)5263

三春町歴史民俗資料館 夏季企画展 「見る・さわる 世界の化石」

会期 7月18日(土)～8月30日(日)
 会場 三春町歴史民俗資料館

○移動展関連講座

「移動展展示解説会」
 日時 7月18日(土) 13時30分～14時30分
 解説 福島県立博物館学芸員 相田優 他1名
 会場 三春町歴史民俗資料館

「化石標本をつくらう」
 日時 7月23日(土) 13時30分～15時30分
 講師 福島県立博物館学芸員 相田優 他3名
 会場 三春町さくら湖自然観察ステーション研修室

「アンモナイト型の皿をつくらう」
 日時 7月26日(日) 10時
 講師 陶芸家 酒井俊朗氏
 会場 三春町歴史民俗資料館実習室 定員 10名 要申込み 参加費 1500円

常設展観覧料

一般・大学生は270円(20名以上の団体の場合1100円)
 *高校生以下は無料でご覧いただけます。
 *県民の日8月21日(金)・敬老の日9月21日(月)はすべての常設展観覧料が無料になります。

*要申込みの行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始しますが、異なる場合もありますのでお問い合わせください。
 *その他、行事等の詳細に詳しくは月行事予定やホームページをご覧ください。

7月～9月の休館日
 7月6日(月)・13日(月)
 21日(火)・27日(月)
 8月3日(月)・17日(月)
 24日(月)・31日(月)
 9月7日(月)・14日(月)
 24日(木)・28日(月)

